学校評価は、子どもたちがより良い教育を享受できるよう、その教育活動等 の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組です。

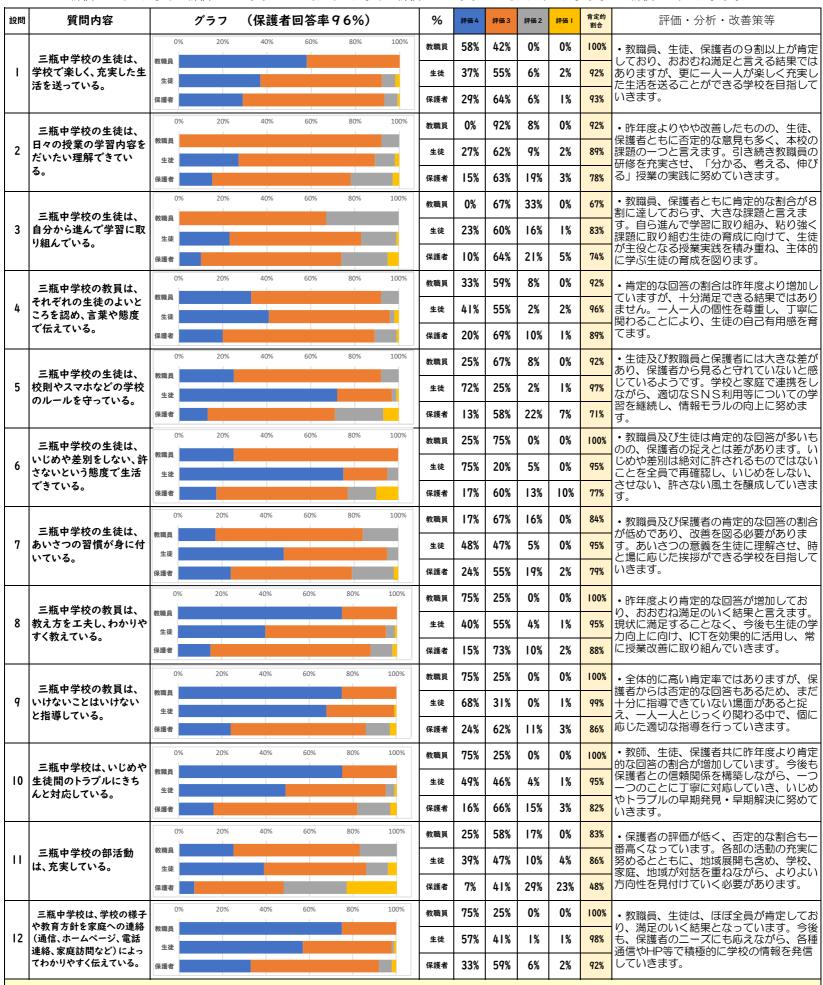
E瓶中学校では、次のような目的で学校評価を実施し 保護 者や地域住民等から信頼される学校づくりを進めます

・計画→実行→評価→改善のサイクルを確立し、継続的に発展 できる体制を整えます

保護者アンケートは7月、12月の年2回です。 保護者・地域に対して積極的に結果を公開し、説明責任を果 たし、改善への手掛かりを得ます。

1 学期末学校生活に関するアンケート結果 令和 7 年度 西予市立三瓶中学校

評価4:あてはまる 評価3:どちらかといえばあてはまる 評価2:どちらかとえいばあてはまらない 評価1:あてはまらない



本校では『主体的に学び、共に認め合い、未来を切り拓く生徒の育成 ~知・徳・体のバランスを大切にし、社会で活躍できる力を育む~』を学校目標して、日々の教育活動に取り組んでいます。生徒は今年度95人で、少人数ならではのよさを生かし、一人一人の笑顔が輝く学校づくりを目指していま。昨年度と同様に学校生活に関するアンケートをオンライン上で行い、保護者からの回答率は96%でした。

9。『F中度と同様に学校主治に関するアプケートをオプブイン上で行が、保護者がらの回音率は90%でした。
学校評価を行うことにより、学校が自らの目標に対する達成状況を評価し、改善点を見つけて教育活動を充実させるとともに、評価の公表により、適切に説明責任を果たし、保護者や地域の連携協力による学校づくりを進めます。今回の評価を受け、高い肯定率だったものについては、さらに取組を充実させるとともに、課題となっている「学習への理解度」「自ら進んで学習に取り組む態度」については、指導の改善を図る必要があります。生徒が、自ら考え、自ら行動することのできる主体的な学びは、わかる授業を展開するための土台となるものです。今後も教職員が協働しながら、よりよい授業づくりを目指します。また、これまで以上に地域との連携が求めたことのできる生体の意味を図っていきます。 組み、地域と共にある学校づくりを推進し、未来を切り拓くことのできる生徒の育成を図っていきます。